

# デトロイトへ旅行される皆様へ

## 1 はじめに

デトロイトは近年、カムバック・シティとして目覚ましい復興を遂げています。

一方で、治安が比較的回復してきた近年でも、全米で危険な都市ワースト5に常に名を連ねています。デトロイト市警察の発表では2016年中、殺人事件302件、殺人に至らない銃犯罪982件、自動車強盗（カージャック）382件が発生しており、米国内でも犯罪被害防止に特に注意を要する都市でもあります。

## 2 デトロイト市内における凶悪犯罪の発生状況

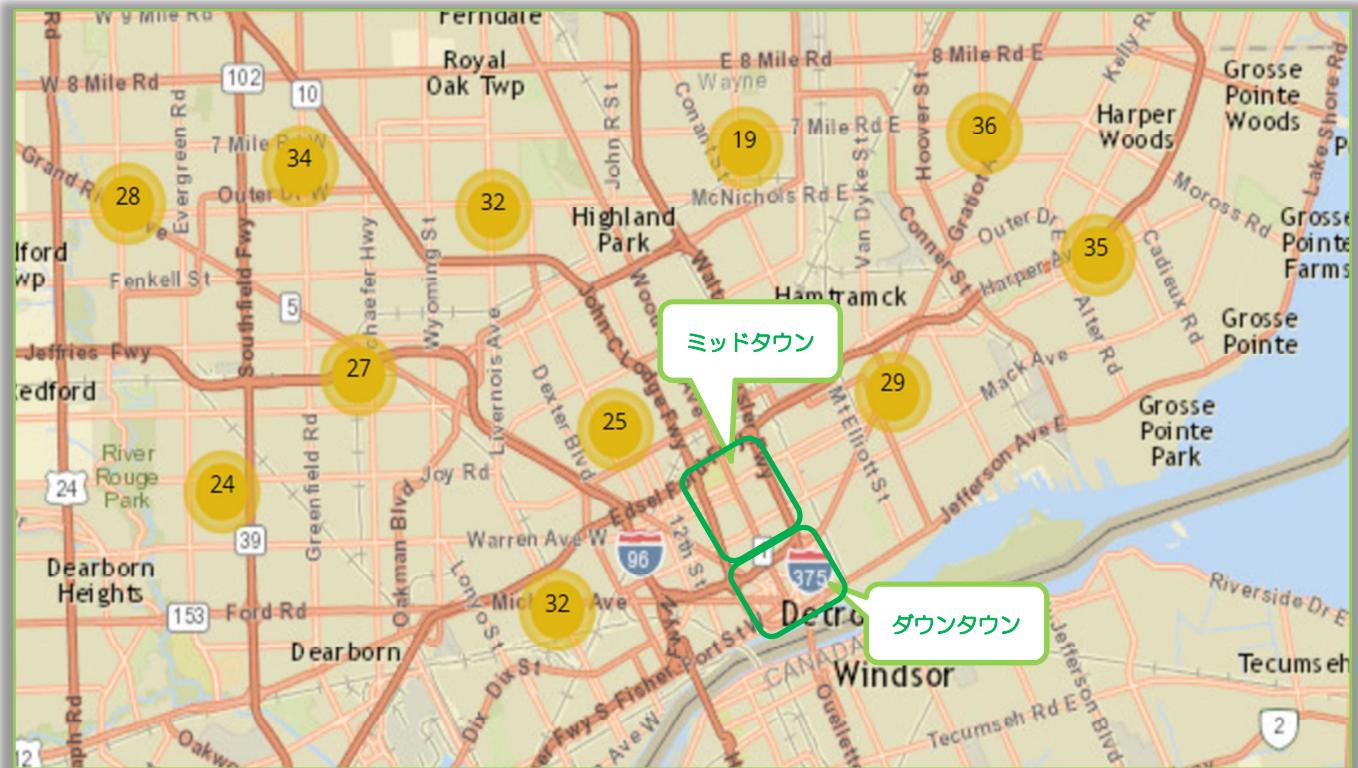
殺人事件の大多数は、ダウンタウン及びミッドタウンを除く地域で発生していますが、ダウンタウン内でも深夜を中心に強盗事件が発生しています。凶悪犯罪の多くは深夜に発生していますので、ダウンタウンを含め、市内では夜間、特に深夜の外出は極力控えるようお願いします。

また、治安が回復しつつあり、芸術的な建物やローカルレストランが多数点在するミッドタウンでも殺人や強盗事件などの凶悪事件が散発的に発生しています。昼間でも人気のない路地裏等への不必要な立入りは避けるようお願いします。

### (1) 殺人事件の発生状況（2016年1月～2017年2月末現在）

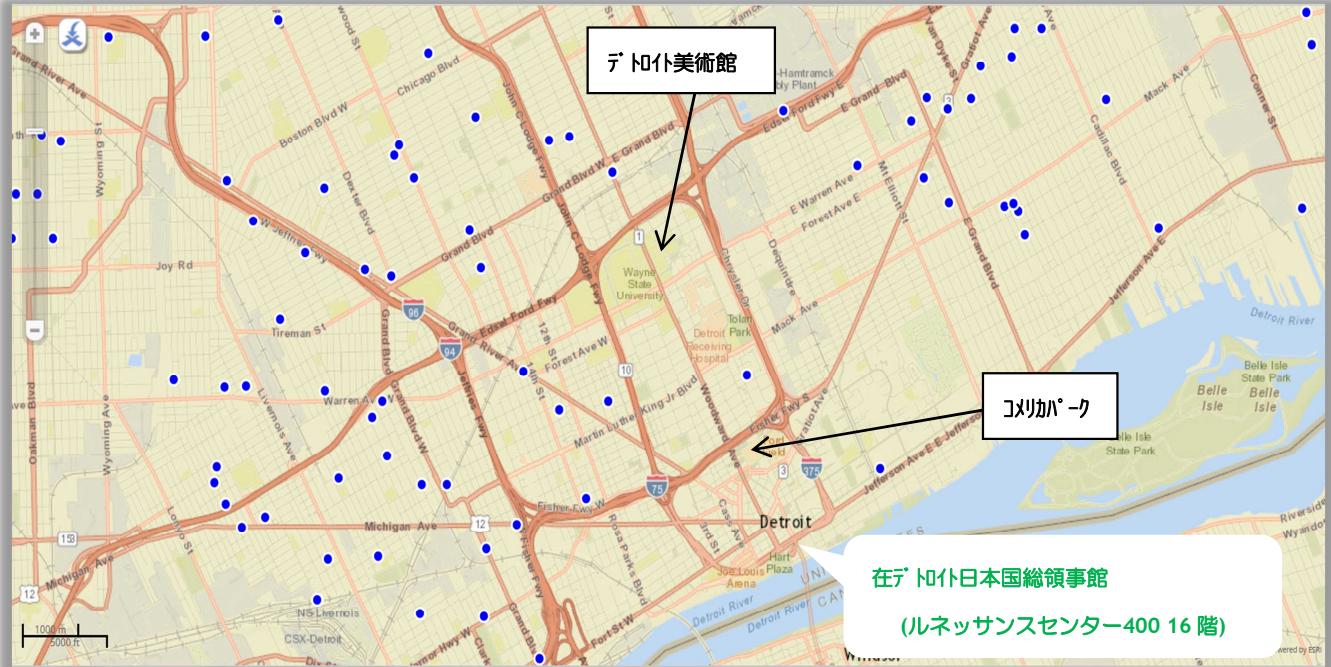
出典：デトロイト市ホームページ <https://data.detroitmi.gov/browse?category=Public+Safety>

#### 【市内全域】



※数字はエリア内の殺人事件の発生件数

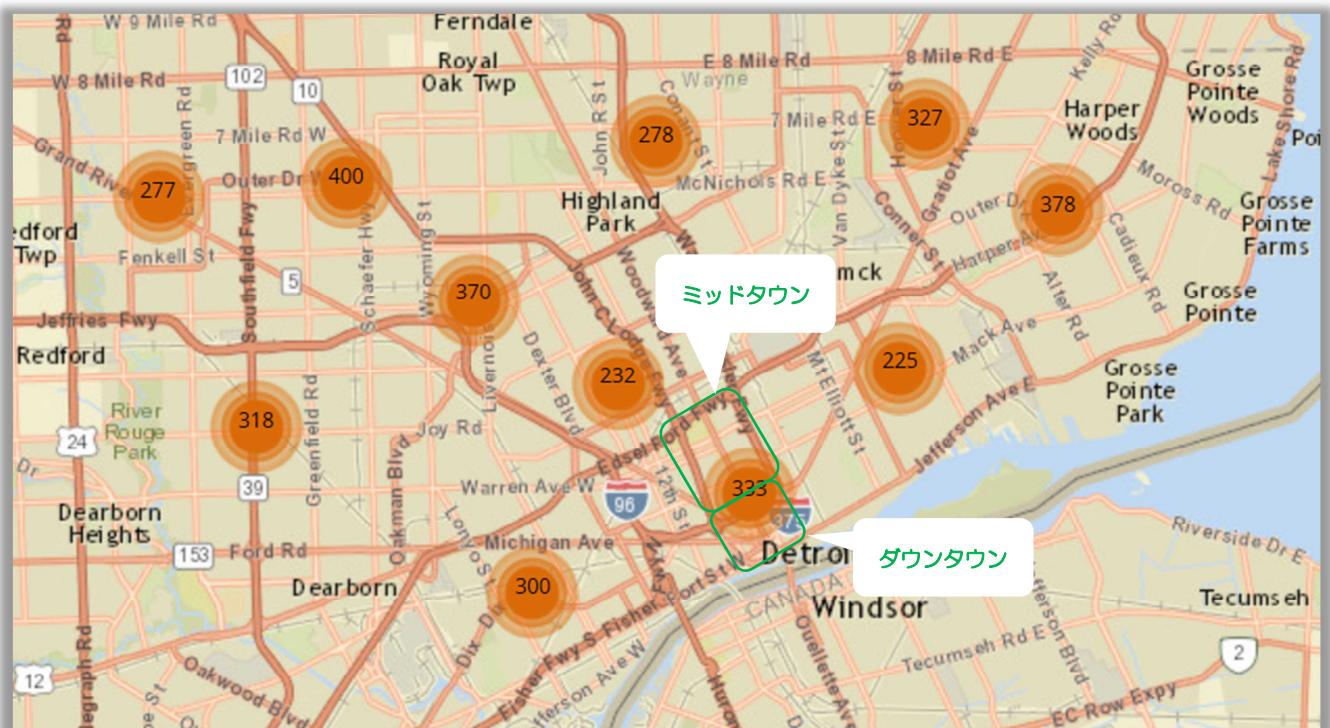
## 【ダウンタウン及びミッドタウン】



※青色の点は殺人事件の発生場所

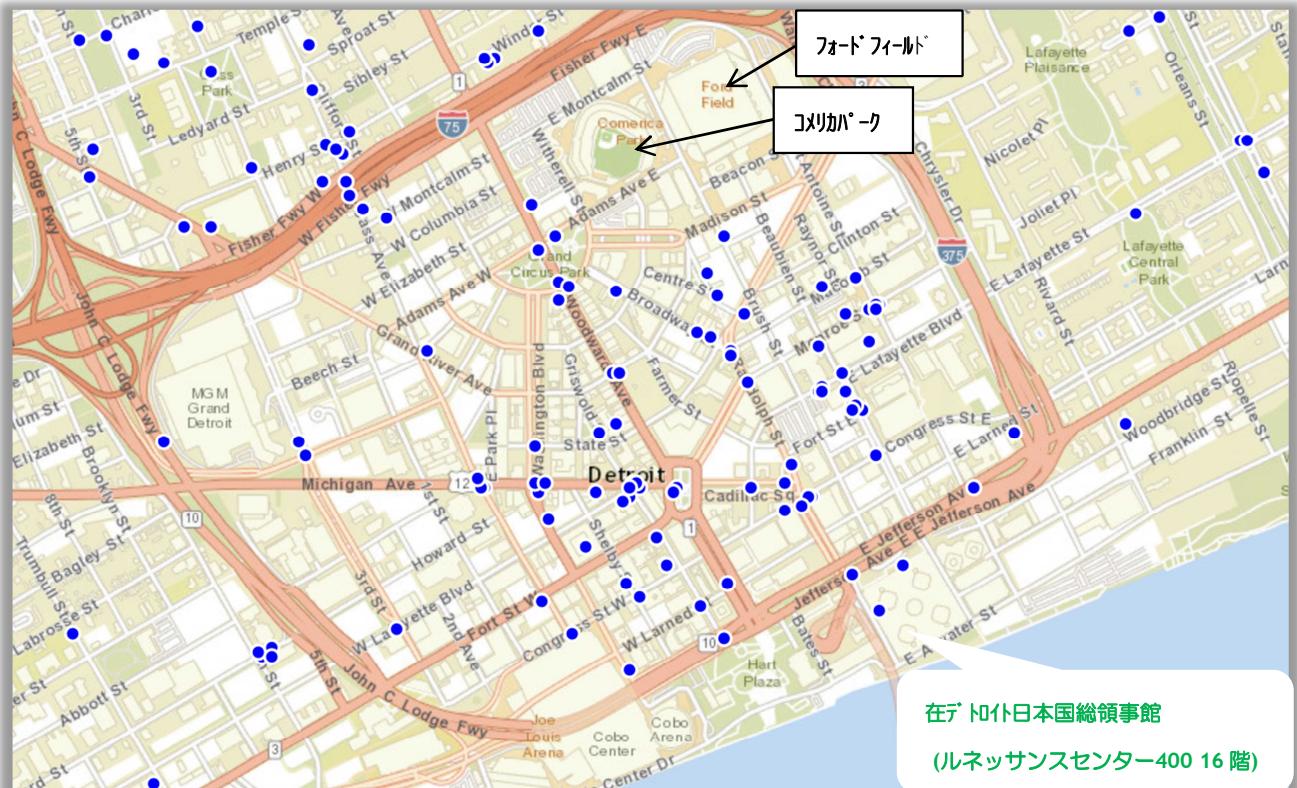
## (2) 強盗事件の発生状況 (2016年1月～2017年2月末現在)

### 【市内全域】



※数字はエリア内の強盗事件発生件数

## 【ダウンタウン拡大図】



※青色の点は強盗事件の発生場所

## 【ミッドタウン拡大図】



※青色の点は強盗事件の発生場所

### 3 デトロイト市内を観光する際の注意事項

デトロイト市内では依然として凶悪犯罪が多発していることを忘れず、観光で訪れる際は以下の点に留意してください。

#### (1) 治安の悪いエリアには絶対に立ち入らない

ダウンタウン、ミッドタウンを除くエリアでは昼間であっても凶悪犯罪が多発しており、地元のアメリカ人も立入りを避けています。これらエリアは廃墟が多い、街並みが寂れた様子、路上生活者が多いなど、雰囲気として感じ取ることができますので、これらの雰囲気を感じた際には、速やかに来た道を引き返すなどしてください。特にミッドタウンは治安の悪い地域と隣接していますのでご注意ください。

#### (2) 興味本位で廃墟に立ち入らない

廃墟の多くは治安の悪いエリアにあります。過去には、興味本位で廃墟に立入り地元の若者達とトラブルになり、銃で威嚇された事案もありますので、興味本位で立ち入らないようご注意ください。

#### (3) ダウンタウン、ミッドタウンでも深夜の外出は控える

昼間は人通りのあるダウンタウンやミッドタウンでも夜間は閑散となります。同地域で発生している強盗事件の大多数は夜間、特に午後11時頃から午前5時頃の深夜に発生していますので、同エリア内でも夜間の外出は控えるようにしてください。

#### (4) 目立つ格好や貴重品を見せびらかすような行為は避ける

ダウンタウンやミッドタウン内でも海外からの観光客は少ない状態です。犯罪のターゲットとなりやすい派手な服装や高価な貴金属を身につけることは避け、カメラ等も目立たないように携行してください。

#### (5) 犯罪に遭った場合は抵抗しない

アメリカは銃社会で、誰でも銃を所持している可能性があります。銃を突きつけられた場合は勿論、置き引きや引ったくりなどでも追いかけないよう注意してください。犯罪被害に遭った場合は、相手の特徴、車両ナンバー等を可能な限り確認し、自身の安全を確保した後に911（警察）通報してください。

#### (6) その他の情報提供

在デトロイト日本国総領事館では、デトロイトを含めたミシガン州及びオハイオ州内の安全情報を提供しています。具体的な地域の情報をお知りになりたい場合は下記メールアドレスまたは電話番号までお問い合わせください

【メールアドレス】[seikatsuanzen@dt.mofa.go.jp](mailto:seikatsuanzen@dt.mofa.go.jp)

【電話番号】（日本からは010+1）313-567-0120（内線208）